資 料 ２－４

次期保健福祉総合計画（高齢者分野）の課題

基本目標 （取り組みの視点）	課　題　認　識
【基本目標１】 自分らしく いきいきとした シニアライフの実現	人生90年時代を意識した人生設計の啓発 価値観の変化，多様化する暮らし方や考え方に基づく「学ぶ」「楽しむ」機会づくり 高齢者の社会参加・就業機会となる「居場所」「出番」の創出 健康長寿を目指す健康づくりの啓発 認知症予防・介護予防へ誘導する啓発（特に男性は生活習慣病，女性はロコモの予防）
【基本目標２】 地域で支え合い， 安心して生活できる 仕組みづくり	社会（地域）の支え手，担い手を増やしていく啓発・仕組みづくり 高齢者の社会的孤立を防ぐ地域の絆・仕組みづくり 外出・移動が困難な高齢者の移動を支援する仕組みの再構築 地域の実情に即した在宅医療・介護を提供する体制づくり 家族など介護者の負担軽減につながる支援の強化（働く介護者，親の介護と子育てを同時にしなければならない世帯への支援）
【基本目標３】 安全・安心な 生活環境の整備	成年後見制度の普及に向けた仕組みづくり（単身高齢者や認知症の人の権利・財産を守る支援） 高齢期の暮らし方を意識した住まいのバリアフリー化 高齢者が自らの所得状況やニーズに合った住まいへ円滑に入居できる仕組みや環境の整備 「施設（ハード面）」と「心（ソフト面）」のバリアフリー化の推進
【基本目標４】 介護保険サービスの 適切な利用と運営 の推進	本人・家族が自分の持てる力を活用して生活することを心がけ，その上で必要な介護サービスを利用するという考え方の普及・啓発 夜間や緊急時，通い・泊り・見守りなどへの対応可能な在宅での24時間365日切れ目ないサービスの拡充 入所・居住系ニーズへの適切な対応